

# ODS32-D

## 操作マニュアル

Ver.2.0.2



ご利用にあたり、マニュアルは必ずお読みいただいてから  
コンテンツ作成、組立、運用をお願いいたします。

## 目 次

各ページの右上の番号をご確認ください。

注 意 事 項           ▷ 01

ア イ テ ム 一 覧       ▷ 02

組 立                   ▷ 03 ～ 04

基 本 操 作           ▷ 05 ～ 06   [ 05 リモコン操作 / 06 USB・電源ONOFF ]

コ ン テ ン ツ 作 成  ▷ 07 ～ 09   [ 07 基本事項 / 08コンテンツ基準 / 09コンテンツ入替 ]

コ ン テ ン ツ 配 信  ▷ 10 ～ 13   [ 10～13   USBプレーヤー再生 ]

サ ポ ー ト           ▷ 14

必ずお読みになってから、ご使用ください。

## □製品のご利用について

- 1日の稼働は16時間までを目安としてください。
- 24時間フル稼働させると劣化／故障の原因となります。
- 長時間お使いいただく場合は、1日1回リモコンによる電源ON／OFFをしてください。

## □安全のための注意事項

- この製品はユーザー様の安全を保証できるように設計されておりますが、感電やその他の危険を防ぐため、以下の事項をお守りください。
  - 長時間、直射日光のあたる環境での使用は避けてください。
  - 屋外に放置せず、使用しない場合は屋内か軒下に移動をさせてください。
  - 物で製品の通気口を塞いだり、物を通気口の中に入れたりしないでください。
  - 油、煙、埃を避け、高い温度や湿気が多い場所に置かないでください。
  - 電源コードの抜き差しを行いやすい場所に設置してください。
  - 電源コードや他のコードが正しく、かつしっかりと差込まれているか確認してください。
  - 感電の原因となりますので、濡れた手で電源コードに触れないでください。
  - 感電や火災の原因となりますので、損傷した電源コードや負荷がかかりすぎたACコンセント、延長コードなどを交換する際はサービスエンジニアにご依頼ください。
  - 加熱による火災の原因となりますので、たこ足配線は行わないでください。
  - 液晶画面を傷つける原因となりますので、周囲で尖った物を使ったり、置いたりしないでください。
  - 火災や故障の原因となる内部に溜った埃等の清掃は、ご自身ではならず、サービスエンジニアにご依頼ください。
  - リモコンは防水仕様でないため、屋内で保管してください。
  - 製品は安定した場所に設置してください。
  - 製品の移動や設置は、二人以上で行ってください。
  - 製品に寄りかかったり、ぶつかったりしないようにご注意ください。
  - 製品を長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
  - 破損・故障の場合は、ご自身で修理ならず、サービスエンジニアにご依頼ください。
  - 製品の移動には、手押し車やローラの付いた什器を用いて行ってください。
- その際には、転倒による怪我や破損にご注意ください。

## □画面の残像に関する注意事項

- 原因
  - 液晶画面の特性上、同一の停止画面を長時間表示すると画面に残像が起きます。長い間放置すると、永続的に残像が残りますので、ご注意ください。
- 対策
  - 一時的な残像であれば、数分から数時間白い画面や動画を表示することで軽減することが出来ますが、液晶の特性上、永続的な残像の場合は完全に消すことは出来ません。
  - 継続的に同一の停止画面を表示する必要がある場合は、1時間に2-3分程動画を挟むことで、残像の発生を避けることが出来ます。
  - 残像の発生原因は表示される停止画像の明るさと表示時間によりますので、合わせて、明るさを抑えて表示することをお勧めします。
- 注意
  - 以上の内容は、保証の対象となりません。

## □保証対象

- 当説明書に記載されている使用方法／注意事項以外での故障・破損は保証対象外となる場合があります。



お客様にご用意いただくもの

・プラスドライバー ・ マイナスドライバー ・ パソコン (Windows)

## 【 A モニター箱内 ※ODS32S/32K 共通 】



USBメモリは付属のものをお使いください。  
別途ご用意される場合は以下推奨品をお使いください。

- A-DATA : AUD310-8G-RBK
- SanDisk : SDCZ33-008G-B35



□ モニター x 1

□ 取扱説明書 (本書)

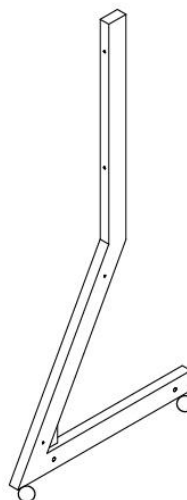
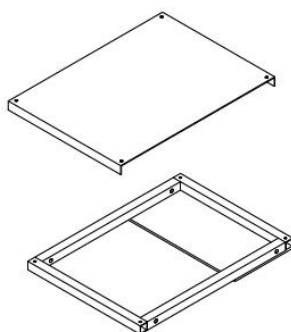
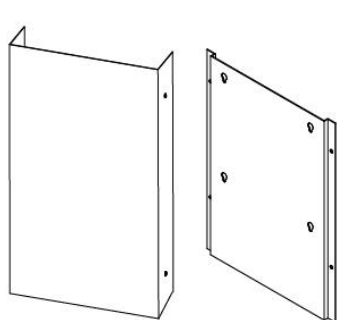
□ 保証書

□ リモコン x 1

□ USBメモリ x 1

□ USB差込口用  
防水キャップ x 1

## 【 B-1 : ODS32S スタンドセット 】 ※ODS32Kには付属されていません。



六角ネジ (大) x 4



ナット+ワッシャー x 4



マイナスネジ x 4



六角ネジ (小) x 8



六角レンチ (大) x 2

六角レンチ (小) x 2

スパナ x 1

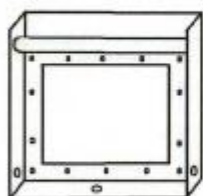
□ 前面カバープレート x 1 □ 底面カバープレート x 1

□ モニター固定プレート x 1 □ 底面ステージ x 1

□ 側面フレーム x 2

## 【 B-2 : ODS32K 壁掛金具セット 】 ※ODS32Sには付属されていません。

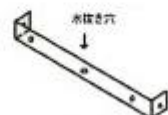
### 【アイテム一覧】



壁面用プレート x 1



モニター用プレート 上部 x 1



モニター用プレート 下部 x 1



皿ネジ 4本



化粧ネジ 2本



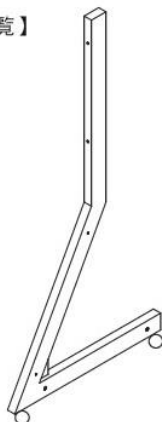
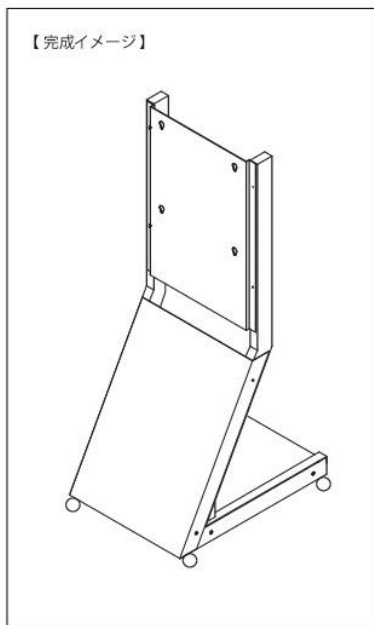
壁面への取付に使用されるビスや  
アンカーはご用意ください。

## 【屋外用デジタルサイネージ スタンド組立マニュアル】

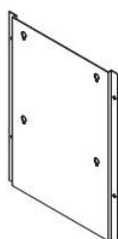
※ 必ず2名以上で作業を行ってください。

## 【アイテム一覧】

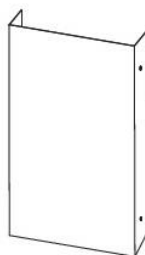
## 【完成イメージ】



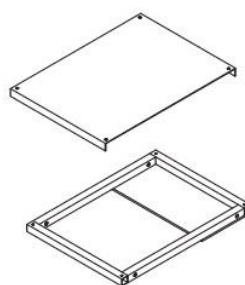
側面フレーム × 2



モニター固定プレート × 1



前面カバープレート × 1

底面カバープレート × 1  
底面ステージ × 1

【ご用意いただくもの】  
・プラスドライバー  
・マイナスドライバー



六角ネジ（大） × 4



ナット+ワッシャー × 4



マイナスネジ × 4



六角ネジ（小） × 8



六角レンチ（大） × 2

六角レンチ（小） × 2



スパナ × 1

【POINT】  
キャスターのレバーでロックの  
ON/OFFができます。



解除

ロック

① 側面フレームと底面ステージをネジで止めます。六角レンチ（大）とスパナを使用します。

## 【POINT】

8割程度までネジを締めてください。  
締めすぎると次行程の「底面カバープレート」が  
取付けにくくなります。  
※ 最後はしっかりと締めてください。

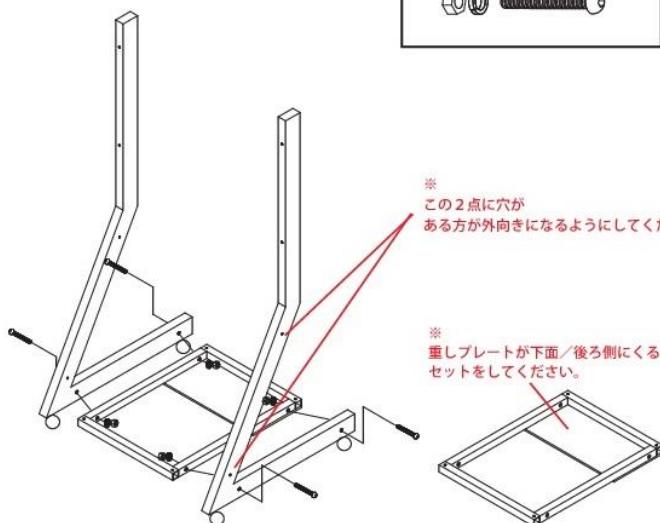
## 【使用するネジ】

六角ネジ（大） × 4  
ナット+ワッシャー × 4



※  
この2点に穴が  
ある方が外向きになるようにしてください。

※  
重しプレートが下面／後ろ側にくよう  
セットをしてください。



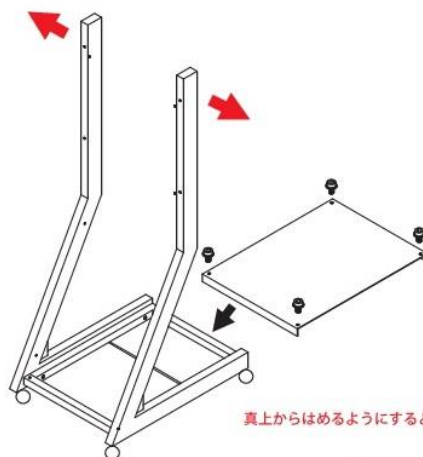
② 底面カバープレートをネジで止めます。六角レンチ（小）を使用します。

## 【POINT】

側面フレームの上部を外側に  
少し広げるとプレートがスムーズに  
取付けられます。

## 【使用するネジ】

六角ネジ（小） × 4



真上からはめるようにするとスムーズです。

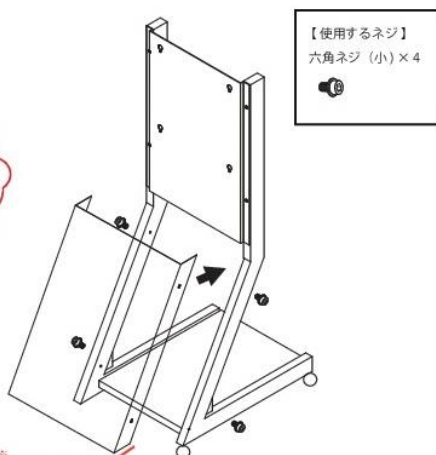
→ 次ページへ続く

③ モニター固定プレートをネジで止めます。

④ 前面カバープレートをネジで止めて完成です。



【ポイント】  
マイナスドライバーや1円硬貨などで締め付けを行ってください。



※ 最後に全てのネジの増締めを行い、ゆるみがないかチェックを行ってください。

⑤ モニター本体のネジをゆるめ、4つの穴に合わせてはめ込みます。その際、右下図のようにネジがはまったことを確認してから、ドライバーでネジを増締めしてください。

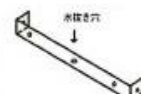
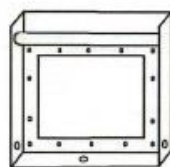


## 【屋外用デジタルサイネージ 壁掛金具 組立マニュアル】

※ 必ず2名以上で作業を行ってください。

【ご用意いただくもの】  
・ プラスドライバー  
・ 壁面への取付に使用されるビスやアンカーなど

## 【アイテム一覧】



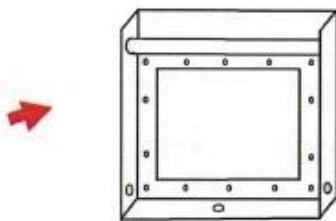
※ 壁掛金具はディスプレイセンター位置ではありません（高さ方向）  
壁面プレート取付前に、寸法をご確認の上取付下さい。

① 付属の皿ネジを使い、モニター背面にモニター用プレートを取付けます。  
※ 付属の皿ネジで必ず取り付けて下さい。

② ご用意いただいたビス・アンカー等を使い、壁面用プレートを壁に取付けます。  
※ 壁の下地に合ったビス・アンカー等をご用意ください。  
※ 6mm穴が14カ所に開いています。

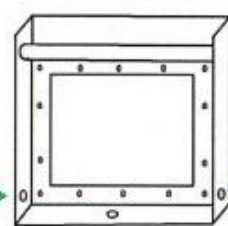
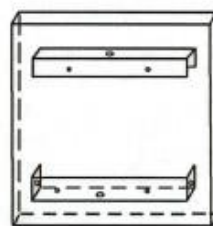
③ [モニター用プレート上部]を[壁面用プレート]に引っ掛け ①、下部を枠にはめ込み側面を化粧ビスで止めたら完成です。  
※ 化粧ビスは強く締めすぎないで下さい。

上部プレートはコの字です。



① モニター背面

壁面プレート



コの字金具をパイプに引っ掛ける

## 【はじめに】



1日の稼働は16時間までを目安としてください。

24時間フル稼働させると劣化／故障の原因となります。

長時間お使いいただく場合は、1日1回リモコンによる電源ON／OFFをしてください。

## 【STB用リモコンでよく使うボタン】



### ① パワーボタン

電源のON・OFFに使います。

### ② MENUボタン

「設定画面」を使う際に使います。

### ③ ENTERボタン

操作決定時に使います。

### ④ 十字ボタン▲▼◀▶

選択する際のカーソル移動に使います。

### ⑤ EXITボタン

設定画面内切替など別画面へ移動する。

### ⑥ 再生ボタン

コンテンツ再生スタート時使います。

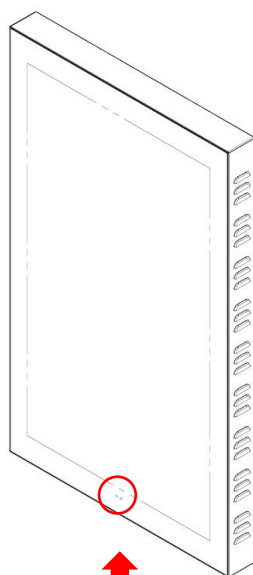


リモコンは、受光部に向けて操作をしてください。

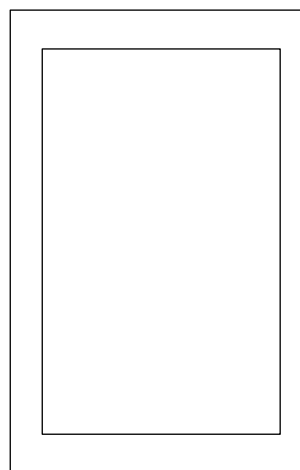
ボタンを押すときは連打せずゆっくり間隔をあけて操作します。



USBの挿し口は2つあります。左側に差し下さい。



受光部



USB  
メモリ



## 【配信時】

1. パソコンでUSBメモリにコンテンツデータを入れます。

**※コンテンツ作成については別項目にて**

2. USBを左側のUSBポートに挿し、キャップをかぶせてください。

キャップは2通りあります。

A：USBメモリを挿して使う場合 → 防水キャップを使用

B：本体にデータを記憶させて使う場合 → 本体付けのキャップを使用

A：防水キャップ

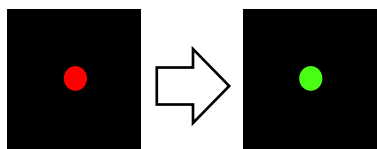


B：本体付けキャップ



3. 電源コードをコンセントに挿してください。

この時、受光部のランプが「赤」から「緑」に変わります。



4. 数秒待つとコンテンツデータが再生されます。（オートプレイ機能）

**※：再生が始まるまでは、リモコン操作を一切行わないで下さい。**

### 【本体にデータを記憶される場合の流れ】

1. USBを差す
2. 本体にデータを記憶させる
3. USBを抜く
4. 本体付けキャップを取付ける。

## 【終了時】

1. パワーボタンを押してOFFにします。
2. コンセントから電源コードを抜いて終了です。

！ 以下作業は、Windowsのパソコンをお使いください。  
Macで作業した場合、USBの故障及び動作不良が起きる可能性があります。

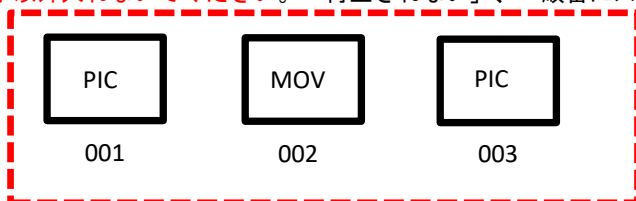
## 【ファイル名の設定】

配信コンテンツは「**ファイル名の数字順**」で流れます。静止画・動画混在プレイ可能です。

流す順番に数字をファイル名にし、**USBに直下でコピー**してください。

※余計なファイル等はいれないでください

※**ファイル名は数字以外入れないでください**。「再生されない」、「順番にスライドしない」、「途中で再生STOP」の症状が生じます。



この場合、001→002→003の順で流れループ再生します。

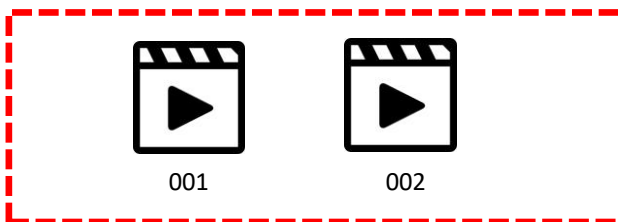
！ コンテンツが1つだけの場合、リピート再生をすることができません。

## 【必要なコンテンツ数】

2つ以上のコンテンツを入れてください。

### POINT

1つのコンテンツをリピートする場合、同じコンテンツを2つ用意しファイル名を001と002にすることで、リピート再生できます。



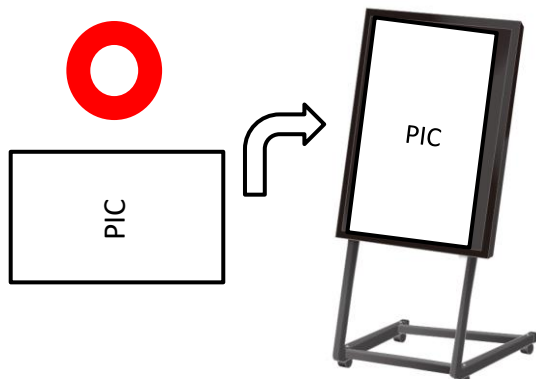
## 【コンテンツの向き】

ディスプレイが**タテ設置**のため、**左90°回転したコンテンツを準備**する必要があります。

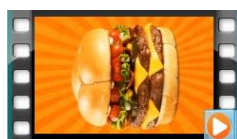
※静止画は縦長に作成した後に、左90°回転させます。

※動画はタテ専用のコンテンツとして準備する必要があります。

### 【左90°コンテンツイメージ】



(静止画サムネイル)



(動画サムネイル)





静止画／動画ファイルのサイズ・容量が大きいと正しく動作できない場合がございます。ファイルは以下記載の基準に合わせて作成ください。

## ○静止画ファイル基準

ファイル形式：JPG／PNG

※その他の形式では表示されません。

推奨ファイルサイズ：1920 x 1080 pixel

※比率は16：9となります。

推奨ファイル容量：2MB以内／1ファイル ※容量が大きいと、動作不良の原因となります。

※「ビットの深さ」は「24」までとなります。「32」の場合、再生されない、黒画面になるなど不具合が生じます。

※「ビットの深さ」は、静止画コンテンツ上で右クリック⇒プロパティ⇒詳細から確認できます。

## ○動画ファイル基準

ファイル形式：MP4 ※MP4を推奨 AVI／MOVにも対応はしておりますが、配信できないことがあります。

推奨ファイル容量：～100MB以内／1ファイル ※容量が大きいと、動作不良の原因となります。

### 【基準レート】

タイプ① ファイルサイズ：1920 x 1080 ／ ビットレート：2500 ／ フレームレート：30

タイプ② ファイルサイズ：1920 x 1080 ／ ビットレート：6000 ／ フレームレート：24

コード：Mpeg4,H264,Divx3.4.5.6

容量の目安（ファイル合計）：合計～1GB以内。

※データが重いと次のコンテンツが映るまでに時間がかかる場合があります。

※1ファイル300MB以上の動画は動作不良の原因となるためお控えください。

## ○コンテンツ作成について

コンテンツは、編集ソフトを使い作成するか、コンテンツ制作会社へご依頼ください。

編集ソフトご紹介 ※例としてご紹介のため、推奨ではございません。

- ・静止画：ペイント
- ・動画：ムービーメーカー

※こちらのソフトは簡易的にサイズ調整ができるソフトとなっております。

使い方は、各ソフトのマニュアルをご確認ください。

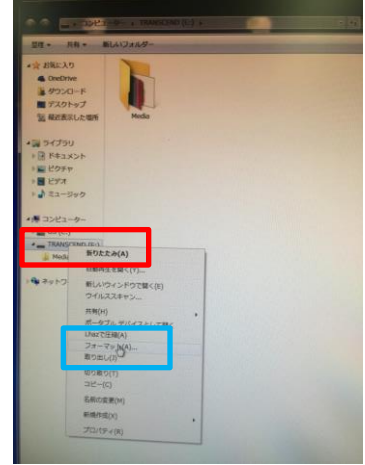
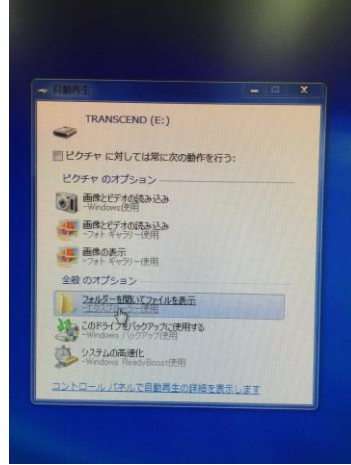
※ソフトのダウンロードは一切の責任を負いかねますので、ご自身の判断で行ってください。



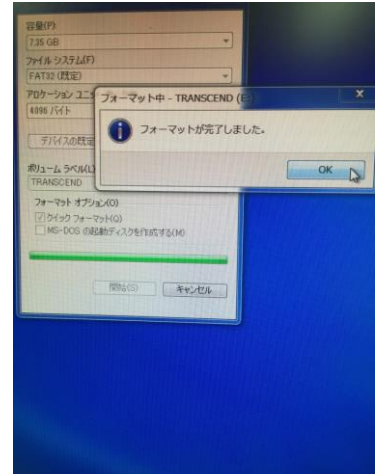
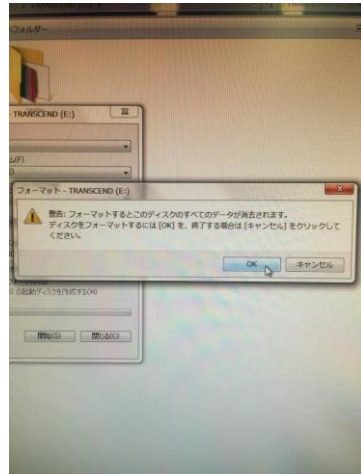
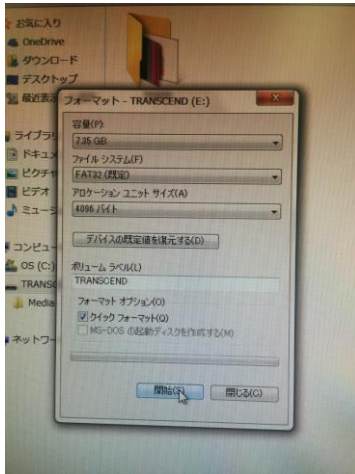
コンテンツの入替時は、USBを一度フォーマットしてください。  
フォーマットしないと、データが消去されずUSBのメモリ内部に残ることがあるためです。

## 【 USBフォーマット方法 】

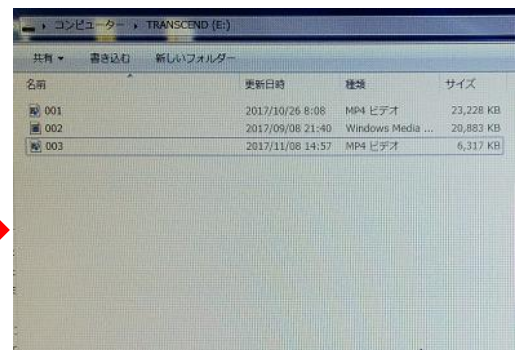
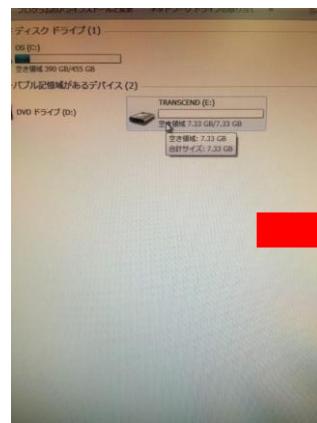
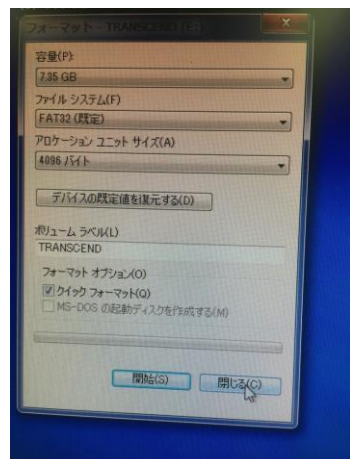
- 1.USBをパソコンに差してください。  
※パソコンは「windows」のみとなります。
- 2.USBを差込むと下記の画面が表示されます。  
「フォルダを開いてファイルを表示」を選択してください
- 3.赤枠部にカーソルを合わせ、右クリックしてください。  
青枠部のフォーマットをクリックしてください。



- 4.「開始」をクリックしてください。
- 5.「OK」ボタンをクリックしてください。
- 6.フォーマットが完了したら「OK」ボタンをクリックしてください。

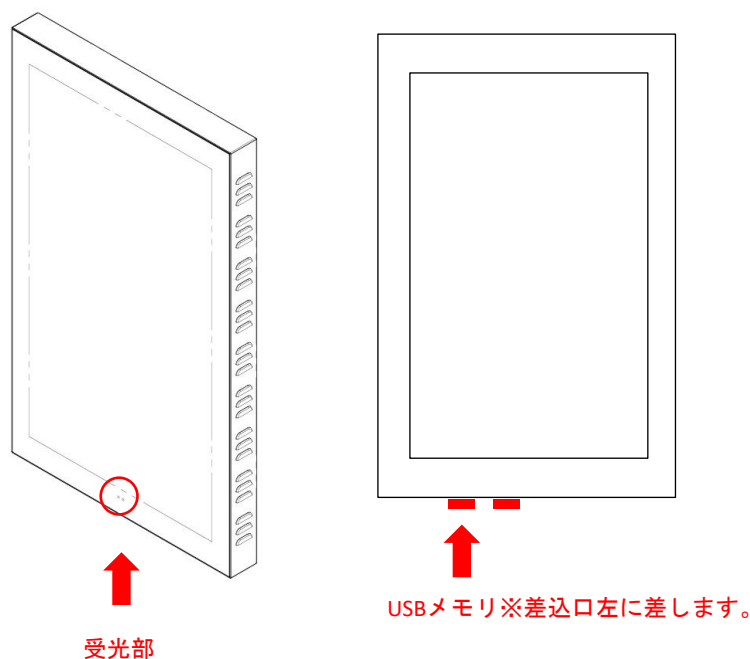


- 7.画面の「閉じる」をクリックしてください。
- 8.windowsのコンピューターから、USBを選択してください。 コンテンツを直下でUSBにコピーしてください。



## A.USBメモリ再生の方法

- 1.ディスプレイ下部にUSBメモリを差します。  
(USB差込口は、2コあります。左側に差して下さい)



- 2.ディスプレイのAC電源コードをコンセントに差します。

- 3.コンテンツが自動再生されます。(数秒～1分くらい。コンテンツ容量による)  
※USBメモリスティックを差していない場合は青い画面が表示されます。

※電源をOFFにする場合はリモコン「電源ボタン」を押します。

→普段の運用でコンテンツを切り替える場合、USBメモリスティックを差替えてから電源を入れていただければ自動再生します。

ディスプレイ下部受光部に近づけ操作下さい。  
(近づけないと操作できない場合があります。)



## B.コンテンツ再生設定 [再生秒数・スライドモードなどの設定ができます]

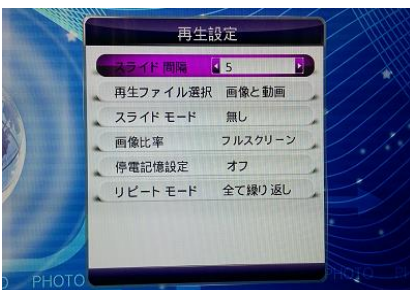
1.コンテンツ再生中もしくは、青画面時に、MENUボタンを押すと「設定メニュー」が表示されます。



2.設定メニュー画面内、上下▲▼ボタンで「再生設定」を選択。「ENTERボタン」を押します。



3.「再生設定画面」内で、左右▲▼で設定。移動は上下▲▼。で設定を操作します。



### 設定する項目

- スライド間隔 : 5～59秒。
- 再生ファイル選択 : 通常は「画像と動画」にする。
- スライドモード選択 : 11種より選択。※普通に画面が切り替わるモードは「無し」選択です。

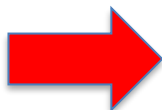
※スライドモード内のフェードインアウトは、画像によりスライド時に一瞬「チラつき」が出る場合がありますのでご確認の上ご使用下さい。

下記設定は変更しないでください。※下記設定になっていなければ設定ください。

- 画像比率 : 「フルスクリーン」
- 停電記憶設定 : 「オフ」
- リピートモード: 「全て繰り返し」

4.設定が終わったら、「EXITボタン」を2回押し。青い画面にします。

5.「再生ボタン」を押すと、コンテンツが再生します。



再生ボタン

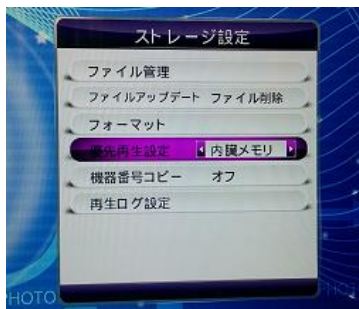


## C.コンテンツストレージ設定 [USBメモリを本体にコピーすることができます]

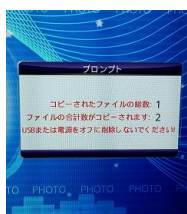
- 1.USBメモリを抜いておきます。
- 2.リモコン「MENUボタン」を押します。設定メニューが表示されます。
- 3.ボタン上下▲▼で「ストレージ設定」を選択して、「ENTER」ボタンを押します。



- 4.ストレージ設定画面内、ボタン上下▲▼で「優先再生設定」に合わせ、ボタン左右▲▼で「内臓メモリ」に設定します。



- 5.USBメモリをディスプレイ下、左側のUSB差込口にUSBメモリを差します。  
自動的にコピーがはじまり(数秒～コンテンツ容量による。)コンテンツが再生されます。



- 6.コンテンツが再生されたら、**USBメモリを抜きます**。終了です。

※「優先再生設定」を「USB」設定している場合、USBを差してもコピーはおこなわれません。

※次のコンテンツ更新時は新しいコンテンツの入ったUSBメモリを差して電源を入れれば、自動的にコピーが行われます。その際もコピー終了後はUSBメモリを抜いてください。

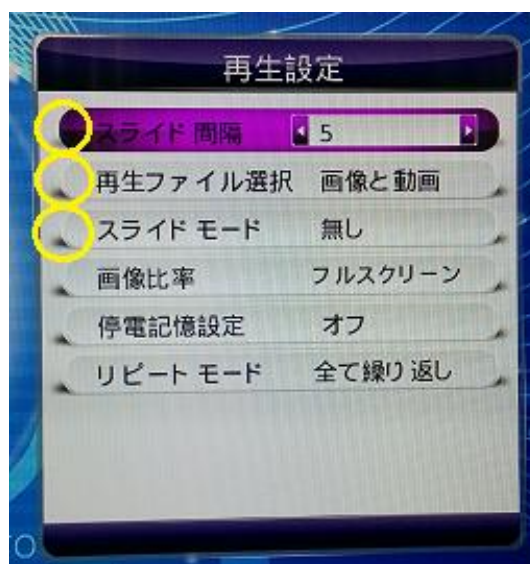
## D.設定メニュー内のご使用についてご注意

※下記○印以外の設定項目は、設定を行わないでください。  
運用上、支障が生じる可能性がございます。

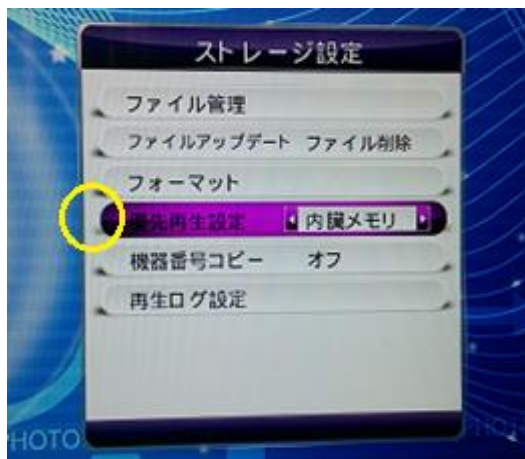
## 設定メニュー内



## 再生設定



## ストレージ設定





**製品に関してのお問合せ先**

株式会社 協同コム

〒104-0042 東京都中央区入船 2-5-7

TEL 03-6280-2780

営業時間： 平日 9:00 - 18:00

トラブルや不具合、操作方法のお問い合わせ等をご相談ください。